

平成 20 年度前期定期試験「フィンランド語文法」

以下の設問に答えなさい。

問 1 フィンランド語における母音調和を、「同化」という言葉を使って説明しなさい。

問 2 フィンランド語の不定人称受動文の特徴を、「昇格」「降格」という言葉を使って説明しなさい。

問 3 以下の文にはそれぞれ 1 箇所ずつ誤りがある。誤りを正しく直しなさい。

- (1) Kaksi miestä istuvat sohvalla. (男が 2 人ソファに座っている)
- (2) Pöydällä on viisi pieniä kuppia. (机の上に小さいカップが 5 つある)
- (3) Torilla on paljon nuoria turistia. (広場に若い観光客が大勢いる)
- (4) Minulla en ole sinisiä silmiä. (私の目は青くない)
- (5) Hän pitää mennä tenttiin. (彼は試験を受けなければならない)

問 4 以下の各文を指示に従って書き換えなさい。

- (1) Lapset leikkivät pihalla. (子どもたちが庭で遊んでいます)
→ 主語を「10 人の子ども」にして (10 人の子どもが庭で遊んでいます)
- (2) Lapset leikkivät pihalla. (子どもたちが庭で遊んでいます)
→ 主語を「たくさん[paljon]の子ども」にして (たくさんの子どもの子どもが庭で遊んでいます)
- (3) Poika haluaa katsoa televisiota. (男の子はテレビを見たがっている)
→ 主語を複数形にして (男の子たちはテレビを見たがっている)

- (4) Poika haluaa katsoa televisiota. (男の子はテレビを見たがっている)
→ 主語を1人称単数形にして(私はテレビが見たい)
- (5) Aion kutsua tuon kauniin naisen. (私はあのきれいな女の人を招くつもりだ)
→ 否定文にして(私はあのきれいな女の人を招くつもりはない)
- (6) Aion kutsua tuon kauniin naisen. (私はあのきれいな女の人を招くつもりだ)
→ 目的語を複数形にして(私はあのきれいな女の人たちを招くつもりだ。)
- (7) Hän kirjoittaa kirjeen äidilleen joka päivä. (彼は母親に毎日手紙を書いている)
→ 主語を1人称単数形にして(私は母親に毎日手紙を書いている)
- (8) Hän kirjoittaa kirjeen äidilleen joka päivä. (彼は母親に毎日手紙を書いている)
→ 否定文にして(彼は母親に毎日手紙を書いていない)
- (9) Tämän opiskelijan isä on työssä postissa. (この学生のお父さんは郵便局で働いている)
→ 主語を「私の父」にして(私の父は郵便局で働いている)
- (10) Tämän opiskelijan isä on työssä postissa. (この学生のお父さんは郵便局で働いている)
→ 主語を「私の友だち[toveri]のお父さん」にして(私の友だちのお父さんは郵便局で働いている)

問5 以下の各文をフィンランド語に訳しなさい。

- (1) 彼らは中国人ではなく日本人です。(A vaan B「AではなくB」を使って)
- (2) 蛇口からお湯が出ません。(tulla「出る」を使って)
- (3) 君は言葉をいくつ[montako]しゃべれますか。
- (4) 君はどんな音楽を聴いているの？
- (5) 君はどの大学で勉強しているの？
- (6) 君は紅茶にする、それとも[vai]コーヒーにする？(ottaa「注文する」を使って)
- (7) フィンランド人は魚より肉を多く食べます。(A enemmän kuin B「BよりAを多く」を使って)
- (8) 彼は世界中で[ympäri maailmaa]よく知られています。(不定人称受動文を使って)
- (9) 夏には湖の岸辺で踊ったり歌ったりします。(不定人称受動文を使って)
- (10) デパートの前で[edessä]待っていて。(命令文を使って)
- (11) かばんは椅子の下に[alle]置きなさい。(命令文を使って)
- (12) 運動をしないと[kun]、病気になるよ。(2人称単数を主語にして)